

序章——身心変容のワザ

鎌田東二 京都大学名誉教授。上智大学クローフェア研究所特任教授。研究代表者

- 1 「身心変容技法」とは何か？
- 2 空海の「十住心」論の身心変容技法
- 3 覚鑿の『五輪九字明秘密釈』の身心変容技法
- 4 廓庵の「十牛図」の身心変容技法
- 5 修験道と現代仏教の身心変容技法
- 6 神道の身心変容技法としての石笛と言霊と鎮魂帰神法

003

第1章 キリスト教神秘主義の身心変容

西欧キリスト教における「身心変容」研究への展望

鶴岡賀雄 東京大学大学院人文社会系研究科教授／宗教学・キリスト教神秘主義研究

- 1 イエス・キリストの身体
- 2 修行する身体
- 3 見られる身体
- 4 関わりのなかの身体

062 059 056 052

アビラのテレジアの「身心変容」の諸相

——「内感」とその行方

鶴岡賀雄 東京大学大学院人文社会系研究科教授／宗教学・キリスト教神秘主義研究

- 1 課題
- 2 病む身体
- 3 神秘体験する身心
- 4 活動する身体へ
- 5 老いの身心？

064

キリスト教神秘主義の伝統における身心変容技法

鶴岡賀雄 東京大学大学院人文社会系研究科教授／宗教学・キリスト教神秘主義研究

- 1 問題関心
- 2 キリスト教の「身心」論
- 3 キリスト教の「変容」論
- 4 キリストの「身心変容」

081

078 076 068 066 064

私生涯  
公生涯  
受難物語  
神学的身体

090 089 087 086 084 083 082 081

- 5 人間の「変容」可能性
- 6 キリスト教における「技法」論  
イグナチウス・デ・ロヨラ  
アピラのテレジア  
十字架のヨハネ
- 7 「技法」の貧困の由来

095 095 094 094 093 092

## 第2章 太極拳のワールドワーク

### 太極拳と気功における身体的リアリティの変容

倉島 哲 関西学院大学社会学部教授／社会学・身体論

102

はじめに

- 1 経験的理由
- 2 理論的理由
  - 2-1-1 マルセル・モースの身体技法
  - 2-1-2 ビエール・ブルデューの実践理論
  - 2-1-3 ハロルド・ガーフィンケルのエスノメソドロジー
  - 2-1-4 観念論的な上達理論
- 3 今後の研究について

108 107 106 105 105 105 102 102

### 身心変容技法はなぜわかりにくいか

——太極拳を事例に

倉島 哲 関西学院大学社会学部教授／社会学・身体論

111

はじめに

- 可視的な作用対象の不在
- 共有されたテンポの不在
- 勝敗を決めるルールの不在
- わかりにくさの意義

115 114 113 112 111

### 中国農村から英国マンチェスターへ

——太極拳の文化間伝播とヴァナキュラリティ

倉島 哲 関西学院大学社会学部教授／社会学・身体論

118

はじめに

- 1 創造された伝統としての太極拳
- 2 マンチェスターのC太極拳センター
- 3 套路とその応用の武術性
- 4 推手における武術性と養生性
- 5 気功における武術性と養生性
- 6 神功のヴァナキュラリティと養生性

129 128 126 124 122 120 118

### 第3章 修験道のフィールドワーク

#### 配慮の技法としての大峯修験道

倉島哲 関西学院大学社会学部教授／社会学・身体論

はじめに

1 順応対象としての修行者集団

・時間とペースの規範

・個別修行の規範

・服装の規範

・性別の規範

2 身体の相互性

3 勤行における配慮

4 掛け念仏における配慮

5 隊列編成における配慮

おわりに

#### 太極拳と修験道における相互身体性

倉島哲 関西学院大学社会学部教授／社会学・身体論

はじめに

1 太極拳の相互身体性

2 間主観的な共通了解というフィクション

3 修験道の相互身体性

4 相互身体性の比較

おわりに

#### 苔の行、あるいは身心変容技法

——羽黒修験・秋の峰に関する身体論的考察

奥井遼 パリ第V大学客員研究員／教育学

はじめに

1 羽黒修験の概要

1-1 沿革

1-2 修行の概要

1-3 羽黒修験のコスモロジー

2 修行の身体論——「行」に埋め込まれた身体

## 第4章 仏教の身心変容技法

### 竜のヨーギ

——ドゥクパカギユ派の聖なる快樂のヨーガ

永沢 哲 京都文教大学准教授／宗教学（チベット仏教）

- 1 竜の人
- 2 ブータン―男根崇拜、ほがらかな性
- 3 セクシャル・リベレーション
- 4 洞窟
- 5 秘密の行為
- 6 悟りの歌

- 2-1 行為・しぐさ・らしさ
- 2-2 行・苦しさ・痛み
- 2-3 音・におい・かゆみ
- 3 修験は身体の何を変容させるのか？
- 4 おわりに

190

206 200 199 194 192 190

187 185 183 181 178

### 空を飛ぶ女

——後期密教におけるフェミニンなもの

永沢 哲 京都文教大学准教授／宗教学（チベット仏教）

- 歌の首飾り
- インシエーション
- 秘密灌頂
- 般若知恵灌頂
- 知恵の女
- 洗濯女、娼婦、踊り子
- エロスと身体マンダラ
- 木綿の布、骨の飾り、裸体
- 裸の心

210

227 225 222 220 217 215 213 211 210

### 虹の身体

永沢 哲 京都文教大学准教授／宗教学（チベット仏教）

- 二〇一三年三月、パロ
- 黄色いラマ
- ブータンへの帰還
- 最後の日々

232

240 238 234 232

チャダル・サンギエ・ドルジェ

ケンボ・アチュー

虹の身体

パロ・ニ〇三年、東チベット・ニ〇四年

虹の身体と光の哲学

法界と明知

対称性の自発的破れと「若々しい子供の壺の身体」

光のマンダラと輪廻の発生

存在の土台へ

## エロスを超えて

——仏教タントラにおける「聖なる性愛」

永沢 哲 京都文教大学准教授／宗教学（チベット仏教）

チャンダリ

カシミール・シヴァ派と「聖なる波動」の哲学

仏教タントラと大乘

慈悲

空性と「大いなる象徴」

エロスを超えて

## 仏教における瞑想とその展開

袁輪顕量 東京大学大学院人文社会科学系研究科教授／仏教学・日本仏教

はじめに

1 パリ仏典に見る心の観察法

2 止と観の相違点

3 観の持つ二つの方向性

3-1 智慧が生じれば観

3-2 心の動きがむやみに走らなくなる観

3-3 心理学の世界とも共通

4 止と観の順序と現代のアジア

5 中国における止観受容の背景

6 天台の述べる止観

7 業処の新しい区分

8 日本における観の受容

おわりに

## 第5章 諸文化における身心変容技法

### スーフィズムにおける身心変容技法

鎌田 繁 東京大学名誉教授／宗教学・イスラーム神秘思想

- 1 預言者ムハンマドの体験
- 2 『クルアーン』の三層構造
- 3 神秘主義的世界観
- 4 スーフィーの技法

『クルアーン』の典拠

ズイクルの実践論

まとめ

### 『莊子』の身心変容技法

中島隆博 東京大学東洋文化研究所教授／中国哲学

はじめに

- 1 恵子と莊子
- 2 胡蝶の夢
- 3 受動性の肯定
- 4 身心変容の技法（1）―坐忘と心齋

319 317 315 313 312

- 5 身心変容の技法（2）―養生と命  
おわりに

322 320

### 湯浅泰雄の修行論と身体技法論

桑野 萌 金沢星稜大学人文学部／哲学的人間学

はじめに―湯浅泰雄の修行論と身体技法論との出会い

326

- 1 「身体」のスペイン語訳をめぐって
- 2 湯浅の身体論と心身二元論克服の道
- 3 湯浅の修行論
- 4 身体における気的位置
- 5 湯浅による身体図式―身体を組織している回路  
5-1 外界感覚運動回路  
5-2 全身内部感覚回路  
5-3 情動本能回路  
5-4 無意識的準身体
- 6 身体における「気」のはたらきと修行  
6-1 科学、医学的次元  
6-2 人間学・倫理的次元  
6-3 霊的次元

337 336 336 336 334 334 332 332 332 331 330 329 327 326

326

## 第6章 舞台芸術における身心変容

国際シンポジウム

世阿弥とスタニスラフスキー

344

レオニード・アニシモフ ロシア功労芸術家・演出家・東京ノーヴェ・レパートリーシアター芸術監督

セルゲイ・ヤーチン ロシア極東連邦大学哲学科主任教授／哲学者・文化哲学

松岡心平 東京大学大学院教授

内田樹 神戸女学院大学名誉教授・武道家・凱風館館長

松嶋健 広島大学大学院社会科学部研究科准教授

鎌田東二 上智大学クローファ研究科特任教授・京都大学名誉教授

### 第一部

講演1 スタニスラフスキーの演劇法と身心変容技法について

344

レオニード・アニシモフ

スタニスラフスキーシステム／芸術家の倫理と目的が結びつく

講演2 ロシア神秘思想における身心変容（技法）について

351

セルゲイ・ヤーチン

劇場は教会、俳優は修道僧／九つの祈りのテクニク／懺悔——感覚を切り替える

ロシア正教の禁欲的神秘的経験における身心変容

358

講演3 世阿弥の演劇法と身心変容技法について

361

松岡心平

観客との関係の中で演劇を考える／俳優の教育システム／能役者の身体の「構え」／能は謡がすべて

講演4 世阿弥の身心変容技法と武道との関係

373

内田樹

中世日本人はどういう身体を持っていたのか／幽かなシグナルを感知できる身体感受性／すり足と「大地の蓋」／風と水のエネルギーと野生獣のエネルギー／人間の身体は野生のエネルギーの通り道／能は太古的な呪術性を残す芸能

講演5 グロトフスキから見たスタニスラフスキーと世阿弥  
松嶋健

精神障害者たちの演劇実験室／身体記憶の重視／俳優と観客、両者が共存する場／俳優ではなく俳優

講演6 世阿弥と修験道と山伏神楽の身心変容技法について  
鎌田東二

「魔縁を静む」／修験道の「験競べ」と能の「三番叟」／「花鏡」の題目六箇条／「目前心後」と「離見の見」／スタニスラフスキー・システムとヨーガ思想／小山内薫が直観していたもの

## 第二部

パネルディスカッション

大地の精霊の表現化／「離見の見」と幽体離脱／本当の人生を歩む道／見ることは「つくる」こと／戦争と芸能の関係／後戸の空間と大地霊の力／「我あり」と「無心」の対比／全体像を取り戻すための芸能や医療を目指して

執筆者プロフィール

386

395

410

432